

公共施設を統廃合

共同ホールとサンライフ久留米 3月閉館へ

新たな施設の誕生などで公共施設への投資が大きくなっています。効率性をさらに高めることで生み出す予算は、将来に必要な事業や新たな市民サービスに充てられます。久留米市は、平成28年に「公共施設総合管理基本計画」を策定。施設の統廃合も含めた検討を進めています。取り組みの一つとして、共同ホールとサンライフ久留米を、来年3月末に閉館します。

1・5倍に 改修や建て替え費用は

久留米市が管理する公共施設は、学校や市営住宅、体育・文化施設など約550施設あります。平成37年度に当たる年度の末には、65%の施設が築30年を超え、老朽化による改修・建て替え費用は現在の1・5倍に。年額で35億円増える見込みです。加えて、社会保障費が増加するなど、市の財政状況は年々厳しくなっています。また、人口減少が進むと、必要な施設の数や種類は変わります。

あり方について、提言を受けた。同年度、市は「公共施設総合管理基本計画」を策定。公共施設の統廃合など、維持管理のあり方を見直すこととしました。

のホールを持つ文化施設で昭和60（1985）年に建設。舞台装置などが古く、大規模な修繕が必要です。また、ホール機能を持つ久留米シティプラザが開館しました。

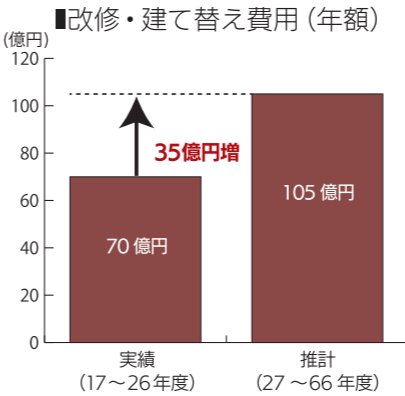
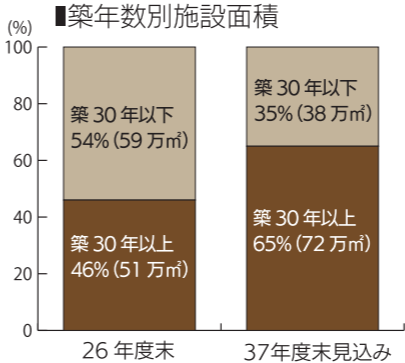
として、会議室や軽運動室などを貸し出し。空調の老朽化などで、施設の大規模な修繕が必要です。こうした状況を踏まえ、共同ホールとサンライフ久留米を、来年3月末に閉館します。

老朽化で大規模改修が必要な2施設

共同ホールは、467席

サンライフ久留米は、昭和52（1977）年に建設。中高年齢労働者の福祉施設

政改革調査特別委員会から、共同ホールの廃止や、サンライフ久留米などの施設の集約など、公共施設の



施設利用者には 代わりの施設を案内

市は、それぞれの施設を利用している人を対象に説明会などを開催し、代わりになる施設を案内します。公共施設の効率的な配置や適正な運営には、古くなった施設の統廃合が欠かせません。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

◆トップアスリート選手強化事業

久留米ゆかりの15人を指定

久留米市は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックなどへの出場が期待される、久留米ゆかりのジュニアアスリートを支援しています。その一つ「トップアスリート強化事業」の平成30年度指定選手が決まりました。

久留米市はジュニア選手に向けたトップアスリート支援を行っています。将来、世界で活躍が期待される選手が競技に専念できる環境を整えるもの。その一つ「トップアスリート選手強化事業」の今年度の指定選手が決まりました。市内に住んでいるか通学している人、出身者などで、中学2年生から19歳までが対象。世界大会出場や日本代表選出などの実績を持つ人を認定し、50万円を上限に指導者謝金や遠征費などを補助します。

併せて、「ジュニアアスリート競技力向上事業」も実施。技術向上のために、レベルの高い指導者による教室などを開催します。

30年度トップアスリート強化指定選手

素根輝	南筑高校3年	ブダペスト柔道世界選手権・日本代表
古賀若菜	南筑高校2年	全日本柔道連盟・女子C強化指定選手
吉田泰生	南筑高校1年	全国中学校柔道大会男子55kg級・優勝
中嶋涼葉	南筑高校1年	全国中学校柔道大会女子52kg級・3位
兒島直樹	祐誠高校3年	国民体育大会少年男子ポイントレース・優勝 全国高等学校選抜自転車競技大会3kmインディヴィデュアルパーシュート・優勝
上野矢竜	祐誠高校3年	全国高等学校選抜自転車競技大会ケイリン・優勝
内野艶和	祐誠高校2年	全国高等学校選抜自転車競技大会2kmインディヴィデュアルパーシュート・準優勝。6kmスクラッチ優勝。個人ロードレース・優勝
鬼木錬	祐誠高校3年	U19世界ユース男子選手権バレーボール大会・日本代表
亀田瞬	祐誠高校3年	全国高等学校総合体育大会陸上競技大会走高跳・2位
平野竜也	祐誠高校3年	愛媛国体陸上競技やり投げ・3位
下川拓樹	三瀬高校3年	アジアパンフィックレガッタ男子カヤック1000m・U18日本代表
酒井怜奈	鵬翔高校1年	全国中学校柔道大会女子48kg級・3位
陣内亮輔	駒澤大学1年	船越義珍杯少年世界空手道選手権大会・優勝
八橋巧	立命館大学1年	カヌースプリントU23世界選手権大会男子カヤック・日本代表
池上あかり	福岡県自転車競技連盟	UCIジュニアトラック世界選手権大会・日本代表

■日本一のブロッカーとして五輪目指す

U19世界ユース男子選手権バレーボール大会
日本代表 鬼木錬さん（祐誠高校3年・八女市）

鬼木選手がバレーボールを始めたのは、高校に入学してから。なんと1年半で日本代表に選出されました。顧問の鶴田和久先生は、「身長が2mを超えるにも関わらず、しっかりとした体つきで安定感がある。その上、手先も器用で驚くほど成長が早い」と評します。

「大学に進学してから実業団に入り、将来はオリンピックを目指します。そのために、ブロックの技術を高めてブロッカーとして日本一になりたい」と意気込む鬼木選手。これからの課題は俊敏性と言います。強化指定について聞くと「びっくりしました。補助金はトレーニングで有効に使いたいです」と話しました。



■共同ホール

野中町 959

☎文化振興課 (☎0942・30・9224、FAX 0942・30・9714)



■サンライフ久留米

諏訪野町 2363-9

☎労政課 (☎0942・30・9046、FAX 0942・30・9707)